

宇宙から見た迫力ある地球の姿から  
世界の気象現象・地球環境を学ぶ



**豪華執筆陣による解説!**

- 荒木 健太郎 (著書「雲の中では何が起きているのか」(テレビ朝日)が大ヒット!)
- 鈴木 和史 (著書「気象災害の事典」(朝倉書店)が定番の1冊に!)
- 佐々木 恭子 (NHK Eテレ「学ぼう BOSAI」(雷・竜巻・猛暑潮)出演)
- 猪上 淳 (2017年度日本気象学会賞受賞!)
- 田中好雄 / 吉永 順一 / 鈴木 靖  
土井 成志 / 筆保 弘徳 / 松本 直記 / 道本 光一郎

気象・地球環境に  
ご関心をお持ちの方、  
気象予報士を目指す方、  
小・中・高・大学など  
教育現場の教材に、  
**オススメです!**

**気象と地球環境への関心・好奇心の扉によろこそ**

「世界気象カレンダー」は、気象庁、NASA などの協力で、気象衛星ひまわりをはじめとして、世界の地球観測衛星からとらえた画像や、宇宙ステーションから撮影した貴重な画像を掲載し、さまざまな気象現象・地球環境問題をわかりやすく解説しているのが特徴です。

**美しい画像と詳しい解説**

衛星画像  
解説

**QRコード**  
スマホで「ひまわり8号リアルタイムWeb」へリンク。手元で詳細な画像解析が出来ます。  
(協力: 気象庁気象研究所)

**カレンダーの機能性up!**

月齢  
お天気記入欄  
日付の見やすさに配慮しました

**使える! 長期天気予測**

長期天気統計情報  
「お天気こよみ」

**エルニーニョ予測**

1月のエルニーニョ予測

美しい画像、イラスト・図版、読みやすい解説文、天気図を交えて、各月のトピックスをわかりやすく解説しています。

スケジュール(日曜始まり)や日々の天気の記録など、記入スペースも充実。  
(祝日、二十四節気、気象関連記念日を掲載)

過去30年の天気統計情報から、日々の現れやすい天気を掲載。  
最新の天気予報と合わせてご活用下さい。

オーストラリアなどでは農業・畜産関係者などに活用されている世界の海面水温予測図を掲載。  
研究段階の予測情報ですが、初の商品化を実現。  
(予測4ヶ月分をカレンダーに掲載)



WORLD METEOROLOGICAL CALENDAR

**世界気象カレンダー** 2018年版

●仕様: A3 (297mm × 420mm) 14枚組 見開き時 (594mm × 420mm)  
ツインリンク製本 プラスチックフォルダ付

本体価格: 3,000円+税

**2017年 10月1日 発売**

# 「世界気象カレンダー」は、地球をもっと知るための“3つの切り口”を提案します。

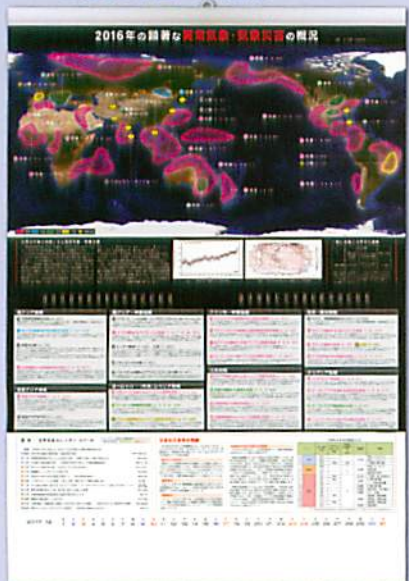
毎月1つのテーマを取り上げて、最新の情報を掲載しています。各月のトピックスは“3つの切り口”に分けて、下記に掲載致しました。

## 切り口1 世界の気象現象

## 切り口2 地球環境問題

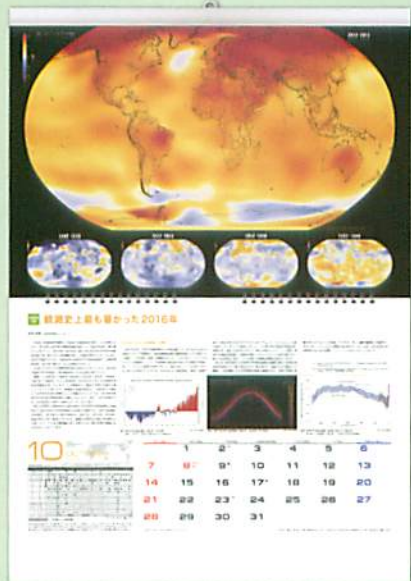
## 切り口3 気象のしくみ

### 資料 2016年の顕著な異常気象・気象災害の概況



気象庁発表「気候系監視年報2016」をもとに、世界の異常気象・気象災害の概況を捉え、「地球の今」を知る。

### 10月 観測史上最も暑かった2016年



2016年は、近代的な観測記録が始まった1880年以來、最も暑い年となった。長期的な地球温暖化の傾向の中、今、私たちが出来ること、考えるべきことは？

### 11月 予測の難しい関東の雪 解明の力は「天から送られた手紙」



SNSを通じた市民科学による雪結晶観測「#関東雪結晶プロジェクト」。2016年11月24日、関東に季節外れの雪を降らせたい雪を調べる降雪研究の取組みを紹介する。

#### 1月 石狩湾小低気圧がもたらした札幌の大雪

記録的トカ雪、ペタ雪が常電を止めたー  
2016年12月10日、札幌では12月としては15年ぶりのトカ雪に見舞われた。これは北海道西海上で南北方向に進む活発な雪雲が流れ込んだことによりもたらされた。

#### 2月 冬の雷から航空機を守る

一大雷雨空域周辺で発生した冬季航空機被害事例ー  
2017年1月20日、日本列島は大荒れの天気となり、大阪国際空港では、離陸した航空機が複数便で雷撃を受けた。被害回避のための予測情報の重要性を解説。

#### 7月 やっと捉えた南米・風の大地、北パタゴニア氷原

グリーンランドやアラスカよりも劇的に氷河が減少しているー  
南米パタゴニアの氷河は劇的な減少を続けている。その要因には気候変動と地形条件が関わっていた。地球観測衛星ランドサット8号の美しい画像から見る。

#### 3月 実はコワイ強風 春一番

春の訪れを告げる強い風と備えー  
「春一番」は暖かさを運んでくれるだけの生ぬるい現象ではない。急激な気圧低下による危険な風として警戒されていたほどのコワイ強風なのだ。

#### 4月 探査機ジュノーがとらえた木星の渦

木星の渦。その渦・帯と東西ジェットの関係とは、地球とは異なる環境での現象の理解が深まることで、地球の気象の理解もより深まるだろう。

#### 8月 異例の台風が多かった年 岩手県に初めて上陸した台風

異例の台風が多かった2016年。中でも太平洋上で進路をUターンさせ、岩手県に初めて上陸した台風10号は、不気味な印象と大きな被害をもたらした。

#### 12月 異例 オーストラリアのクリスマス低気圧

一砂漠地帯に記録的な大雨と洪水ー  
2016年のクリスマス。異例の低気圧がオーストラリアの砂漠地帯に50年に一度の記録的な大雨と洪水被害をもたらした。衛星による降雨観測から解説する。

#### 5月 地球を駆けめぐる大気現象を再現する

一回転水輪実験 新時代ー  
地球を駆けめぐる大気現象を半径6cmの水輪で再現する！ 回転水輪実験はまさに小宇宙であり、数値シミュレーションとは一味違う説得力と大きなロマンを放つ。

#### 6月 ここがエルニーニョの故郷

激しい気象・気候がもたらす豊かな資源と恵みー  
大気と海洋と地球の運動が織り成すエルニーニョ現象の発生メカニズムを、南米の厳しくも多様な気象・気候から紐解く。それは豊かな資源や実りをもたらす。

#### 9月 北極気象観測が熱帯低気圧の経路予測を向上させる

北極の気象観測データが台風・ハリケーンの経路予測の精度向上に寄与する。海洋地球研究船「みらい」による熱帯低気圧「カール」の観測事例から解説する。

### 「世界気象カレンダー2018年版」監修・執筆陣のご紹介

**監修・解説**  
田中 好雄 地球環境問題コミュニケーター 環境省 環境カウンセラー  
鈴木 和史 気象予報士  
吉永 順一 元 東京都立井草高校 非常勤教員 元 NHK 高校講座「理科総合B」講師

**解説**  
荒木 健太郎 気象庁気象研究所 予報研究部 第三研究室 研究官  
猪上 淳 国立極地研究所 国際北極圏環境研究センター 准教授  
佐々木 森子 気象予報士、合同会社でんこロ、代表  
鈴木 靖 一般財団法人日本気象協会 執行役員 技師長  
土井 成志 国立研究開発法人海洋研究開発機構 アプリケーションラボ 研究員

**筆塚 弘徳** 横浜国立大学 教育学部 准教授  
**松本 直記** 慶應義塾高等学校 教諭、慶應義塾大学 非常勤講師 気象予報士  
**道本 光一郎** 日宣電機工業株式会社 電テクノロジセンター 研修チームリーダー 前防衛大学校教授元1等空佐 理学博士

### 企業・学校などでの 多部数申し込み割引・名入れなど、何でもご相談ください。

名入れ カレンダーは 宣伝効果 バツグン!

企業・学校などで、とりまとめでのお申込みは割引価格でご案内いたします。ご贈答用に、販売用に、名入れもご相談ください。

日宣テクノコムズ株式会社

多部数申し込み割引・名入れなど、すべてのお問い合わせはコチラから

TEL: 03-3357-0501  
FAX: 03-3357-0775  
E-Mail: wmc@nissen-yotsuya.co.jp

弊社Webサイトには、さらに詳しい情報を載せております。  
<http://www.nissen-yotsuya.co.jp/wmc/>

日宣テクノコムズ株式会社 Nissen Techno Comms Inc.  
〒160-0005 東京都新宿区東住町12番地 La.R.R.S.ビル1F

◎ 弊社に直接お申し込みのお客様は、下記の申込書に記入の上、FAX または 郵便でお送り下さい。 FAX 番号：03-3357-0775

## 世界気象カレンダー 2018年版 申込書

世界気象カレンダー2018年版 本体価格 3,000円＋税

◎ 企業・団体などで、名入れカレンダーを希望される方は下記にチェック☑をしてください。

部  名入れを希望 (名入れをご希望のお客様には、折り返しお見積を致します。)

お名前	フリガナ	組織名 (社名・学校名) ※団体でお申し込みの場合	フリガナ
ご住所	フリガナ 〒		
お電話		メールアドレス	

※ご記入頂きました個人情報に関する内容は厳正に取り扱います。